

2018年12月5日

お知らせ

社会医療法人厚生会木沢記念病院

病院長 出口 隆

木沢記念病院では下記の予定で臨床研究を予定しています。

研究題名 「バスキュラーアクセスの血管吻合部位とシャント血流量と狭窄部位の関係を調査する後ろ向き研究」

1. 研究の目的と意義

バスキュラーアクセスにおける内シャント（AVF,AVG）は、血液透析においても最も使用されます。この内シャント作製後に最も高頻度である合併症の狭窄があります。この最大の合併症である狭窄の部位について、血管吻合位、血流量との関係を調査することでシャントの性質・特性を解明し、経皮的血管形成術の減少、シャント寿命の延長につなげる目的です。

2. 対象症例

期間中の経皮的血管形成術を施行した内シヤントの症例

3. 研究の対象期間

2013年1月1日～2017年12月31日

4. 方法

上記の期間を後ろ向きに調査します。カルテより以下の情報を使用します。

- a) 年齢、身長、体重、性別、原疾患、臨床症状
- b) シヤントの種類（自己血管/人工血管）、血管吻合部位、狭窄部位、血流量

5. プライバシーおよび個人情報の保護

患者様のプライバシーおよび個人情報の保護に努めます。研究に関する診療情報・データは符号を用いて匿名化し取り扱います。試験結果を公表する際も、患者様を特定できる情報は含まないようにいたします。

6. 自由意思な選択の保障

本研究により患者様が不利益を受けることはありません。また自由意志で研究への不参加が選択できますので、ご自身のデータの利用されたくない場合、本試験へ参加したくない場合は、担当者まで連絡いただけたら、本試験よりデータを利用いたしません。

7. 被験者の費用負担

この研究での患者さまの費用負担は一切ありません。

8. 研究における患者様の受ける利益・不利益

この研究では研究成果が公表された場合も個人が特定されることはありません。また研究は後ろ向きの過去のカルテ情報より抽出することから新たに検査などはなく、不利益はないものと考えます。将来的に研究結果によって、寿命の長いバスキュラーアクセスが開発される可能性があります。

9. 説明と同意

本研究は後ろ向き研究であり、過去のカルテ情報より調査・研究することから、本人に直接的な不利益はないものと考えられ、患者さま個別で、本人への説明と同意は得ません。ただし、当該研究の目的、方法、研究機関、問い合わせ窓口の連絡先をインターネット（ホームページ）に記載し、研究対象者となることをいつでも拒否できるよう配慮いたします。

10. 研究結果

希望がある場合は、研究結果を開示いたします。また、研究結果を論文発表・学会発表で公開いたします。

11. 共同研究機関

偕行会 名古屋共立病院 バスキュラーアクセス治療センター

佐藤隆 櫻井寛

研究実施責任者

厚生会 木沢記念病院 腎臓内科

宮本敢右

この件について、質問や疑義がございましたら平成 30 年 12 月末日までに下記までお
申し出ください。

社会医療法人厚生会木沢記念病院 腎臓内科 宮本敢右

連絡先：0574-25-2181（内線 7981）

e-mail：k-miyamoto@kizawa-memorial-hospital.jp